

Section 03

SO-01Fの基本操作を覚える

SO-01Fのディスプレイはタッチスクリーンです。指でディスプレイをタッチすることで、いろいろな操作が行えます。また、本体下部にある3種類のキーアイコンの使いかたも覚えましょう。



1

キーアイコンの操作



バック

最近使用した
アプリ

ホーム

MEMO キーアイコン

SO-01Fの本体下部にある3つのボタンのことをキーアイコンといいます。キーアイコンは、基本的にすべてのアプリで共通する機能を提供します。

また、一部の画面ではキーアイコンの右側に画面右上にオプションメニューアイコンが表示されます。オプションメニューアイコンをタップすると、アプリごとに固有のオプションメニューが利用できます。



キーアイコンとその主な機能

バック	直前に操作していた画面が開きます。
ホーム	ホーム画面が開きます。左右のホーム画面を表示している場合は、一番左のホーム画面に戻ります。
最近使用したアプリ	最近操作したアプリのサムネイル画像のリストが開きます。サムネイルをタップするとそのアプリを開きます。

タッチスクリーンの操作

タップ/ダブルタップ

タッチスクリーンに軽く触れてすぐに指を離すことを「タップ」、同操作を2回繰り返すことを「ダブルタップ」といいます。



ロングタッチ

アイコンやメニューなどに長く触れた状態を保つことを「ロングタッチ」といいます。



ピンチ

2本の指をタッチスクリーンに触れたまま指を開くことを「ピンチアウト」、閉じることを「ピンチイン」といいます。



スクロール

タッチスクリーンに軽く触れたまま特定の方向へなぞることを「スクロール」といいます。



フリック (スワイプ)

タッチスクリーン上を指ではらうように操作することを「フリック」といいます。



ドラッグ

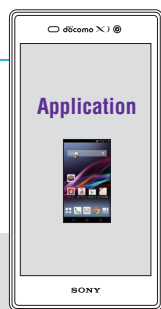
アイコンやバーに触れたまま、特定の位置までなぞって指を離すことを「ドラッグ」といいます。



1

ホーム画面の使いかた

タッチスクリーンの基本的な操作方法を理解したら、次はホーム画面の見かたや使いかたを覚えましょう。本書ではホームアプリを「docomo LIVE UX」に設定した状態で解説を行っています。



1

ホーム画面の見かた

ステータスバー
ステータスアイコンや通知アイコンが表示されます (P.16~17参照)。

Google検索
本体内やWebページを検索することができます。

ウィジェット
アプリが取得した情報を表示したり、設定のオン/オフを切り替えられます (Sec.07参照)。

アプリアイコン
<dメニュー>などの、各アプリのアプリアイコンが表示されます。

フォルダ
ショートカットを1箇所にまとめることができます。

アプリボタン
タップすると、アプリ画面を表示します (P.20参照)。

マイマガジン
タップするとGoogle Chromeが起動して、ユーザーが選んだジャンルの記事を表示する検索サービス「マイマガジン」を利用できます。

ホーム画面を左右に切り替える

- 1 ホーム画面は左右に切り替えることができます。まずはホーム画面を左方向にフリックします。
- 3 ホーム画面を右方向にフリックすると元に戻ります。



- 2 ホーム画面が右画面に切り替わります。



MEMO 操作ガイドを消す

「docomo LIVE UX」では、ホーム画面の操作時に簡単な使いかたや便利な操作方法を教える「操作ガイド」が表示されます。表示を消したい場合は<以後表示しない>をタップします。

